

== 記事内容 =====

1. 2011 年度大会報告
2. 学会誌『共生社会システム研究』第6巻掲載投稿原稿の募集について
3. 学会ホームページのアドレス変更のお知らせ
4. 会費納入のお願い

=====

1. 2011年大会報告

共生社会システム学会 2011 年度大会が、下記の通り開催されました。

☆共生社会システム学会 2011 年度大会☆

2011年7月10日(日)

於：國學院大學 渋谷キャンパス

(9:00~12:00) 個別報告

A会場 3309 教室 (3 号館 3 階)

B会場 3308 教室 (3 号館 3 階)

C会場 3307 教室 (3 号館 3 階)

*個別報告のスケジュール表は、<http://kyosei.digi2.jp/2011taikai&hokoku.pdf> を参照してください。

(12:00~13:00) 理事会 3310 教室 (3 号館 3 階)

(13:00~14:00) 総会 3308 教室 (3 号館 3 階)

(14:20~17:50) 2011 年度公開シンポジウム

日本再生のみちすじと世界のこれから

～グローバル化と共存・共生社会～

共催：國學院大學研究開発推進センター「共存学」プロジェクト

於：学術メディアセンター1F 常盤松ホール

司会進行 古沢 広祐 (國學院大學教授・共存学プロジェクトリーダー)

尾関 周二 (東京農工大学教授)

基調講演1：「震災・原発事故と地域の再生～福島県飯舘村から考える」

糸長 浩司 (飯舘村後方支援チーム代表、日本大学生物資源科学部教授、PCCJ 代表理事)

基調講演2：「脱原発社会の可能性～もう一つの日本と世界を展望する」

田中 優 (未来バンク事業組合理事長、日本国際ボランティアセンター理事)

基調講演3：「共存・共生型の人間・自然・社会像の模索

—地震・津波・原発の大災害に関連して—

島崎 隆 (一橋大学大学院社会学研究科教授)

全体討論

(18:00~20:00) 懇親会 学術メディアセンター1F カフェラウンジ若木が丘

2011年度大会は、当初、「グローバル化と共存・共生社会」をテーマに、大会シンポジウムを企画することで、準備しておりました。そこに、3.11の東日本大震災と福島原発事故が起きたことで、まさに時代を画する出来事をどう受けとめるか、学会活動の根本が問われる状況になりました。

十分な議論を尽くす時間的余裕もないまま、当初のテーマタイトルをサブに置いて、「日本再生のみちすじと世界のこれから —グローバル化と共存・共生社会—」ということで、外部から2名の基調講演者とともに学

会員からの基調講演者に島崎 隆氏が加わって、大変興味深い問題提起と熱心な議論をたたかわせることが出来ました。

基調講演の内容は、次年度の『共生社会システム研究』に掲載されますので、ご期待ください。

テーマならびに講演者の顔ぶれもあって、参加者は学会以外からも百名近い方が集まりました。まさに、現代社会の成り立ち方の根底を問う今回の重大事を受けて、私たち学会の今後の取り組みと在り方自体も問われたものと考えます。学会活動に関心を持たれた方もいて、もう少し日常的な研究会活動やネットでの情報発信の必要性が痛感されました。

これを機会に、学会のいっそうの充実をはかるべく、皆様方と共に励んで生きたいと思えます。

大会実行委員長 古沢広祐

追伸)

今回は新たな試みとして、ネット無料録画配信サービス「ユーストリーム」を利用しました。シンポジウムの様子の映像記録が、いつでもアクセスして見られますので、お試し下さい。下記のユーストリームサイトの上部にある[検索]で、共存学、ないし、共生社会システム学会、を入力して検索すると、アーカイブのサイトにアクセスできます。長い録画記録ですが、自由に見聞きしたい所に飛べますので、ぜひお試し下さい。

<http://www.ustream.tv/recorded/15904302>

2. 学会誌『共生社会システム研究』第6巻掲載投稿原稿の募集について

第6巻の論文投稿の締め切り日は、昨年度と同じ11月1日(火)です。

この日に必着ではありませんが、毎回編集作業があわただしく、ぎりぎりの状態で刊行せざるを得ない状況ですので、投稿予定の方で、締切日での原稿送付が難しそうな場合は、あらかじめ編集委員長あてにその旨メール等で連絡願います。多少はお待ちしますので、必ず事前に連絡願います。

一方、事前の連絡もなく締め切り日を超えての投稿に対しては、厳しく対応し、そのような場合は、第7巻掲載の原稿として取り扱いますので、あらかじめご承知おき下さい。

また毎年、投稿規定、執筆要領をしっかりと読まず、本学会誌の投稿規定や執筆要領を無視した原稿を作成し投稿する人が少なからずいます。その様な投稿原稿に対しては厳しく対応する方針ですので、投稿規定、執筆要領をよく読んで、原稿作成願います。

投稿についての質問・問い合わせは、下記、編集委員長 武田まで願います。

『共生社会システム研究』編集委員長・武田庄平

国立大学法人東京農工大学大学院・共生科学技術研究院・比較心理学

〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8 e-mail takeda@cc.tuat.ac.jp TEL042-367-5588

3. 学会ホームページのアドレス変更のお知らせ

共生社会システム学会のホームページ・アドレスが下記の通り、変更となりました。

(従来のアドレス) <http://wwwsoc.nii.ac.jp/aks> → (新しいアドレス) <http://kyosei.digi2.jp>

学会の最新情報を随時掲載致しておりますので、ぜひご参照ください。

4. 会費納入のお願い

まだ 2011 年度会費を納入していない会員におかれましては、至急会費を納入していただきますようお願い申し上げます。会費は、一般会員 6,000 円、学生会員 3,000 円、賛助会員 20,000 円となっております。よろしくようお願い申し上げます。また住所や所属先、e-mail アドレスに変更があった場合は、速やかに学会事務局までご連絡下さい。皆様方のご協力をお願い致します。

▼共生社会システム学会▼運営委員会事務局▼ ▲野見山敏雄(運営委員長) ▲福田恵(運営副委員長) ▲